

岐阜市立長良西小学校で防災講座を行いました

今年度最初の防災講座です。令和8年5月26日（火）、岐阜市立長良西小学校で4年生109名に防災講座を行いました。この地域は今年で発生から50年の節目を迎える9.12豪雨災害で甚大な被害を受けています。

講座では、伊勢湾台風や9.12豪雨災害、5月29日から運用が始まる新たな防災気象情報などについて学習し、映像で浸水を疑似体験しました。避難を躊躇う主人公に対して「逃げるのが遅い」と発言するなど、自分事に捉えて観ている様子が見えました。

また、伊勢湾台風A1語り部との対話体験やペットボトルで雲や竜巻をつくる実験、体重計を活用した水圧疑似実験なども行いました。A1語り部には「避難した時怖かったですか?」「食べ物はどうしていましたか?」などと質問をし、水圧疑似実験は多くの児童が興味を持ちながら水圧がかかったときのドアの重さを疑似体験しました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は中京テレビ、ケーブルテレビCCN、岐阜新聞に取材頂きました。



新たな防災気象情報を学んでいる様子



伊勢湾台風A1語り部との対話体験の様子



水圧に関するクイズ・水圧疑似実験の様子